

PM2.5 需要を見込み 蘇州工場へマスクの生産設備を導入 生産能力を5割引き上げ

生活用品製造卸のアイリスオーヤマ株式会社（本社：宮城県仙台市、代表取締役社長：大山 健太郎）は、中国の大気汚染問題の長期化に伴い、大連工場（中国遼寧省）に加え蘇州工場（中国江蘇省）でマスクの生産をおこなうことを決定しました。

中国では大気中の微小粒子物質（PM2.5）による大気汚染が深刻化しており、中国政府は数値を公表し、対策を講じると宣言しています。中国国内では毎月新たに100万台以上の自動車が路上に増え、その排気ガスはPM2.5の約半分を構成しているといわれています。

当社は中国の深刻な大気汚染に伴い、一過性ではないマスクの実需が見込まれると判断し、このたび蘇州工場（中国江蘇省）でマスクの生産をおこない生産能力を5割引き上げることを決定しました。蘇州工場で生産することにより日本国内だけでなく、中国でのマスクの販売を本格化します。

■ 蘇州工場 マスク生産概要

稼動時期 : 2013年9月

設備投資金額 : 5億円

生産能力 : 月産1,500万枚

生産アイテム : PM2.5マスク、メントールマスク、立体マスク、プリーツマスク

販売計画 : 中国15億円、日本5億円

販路（中国） : アイリスライフ（直営店）、コンビニエンスストア、ドラッグストア